

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)
平成25年度 研修ニーズアンケート
教員・職員

●調査時期
平成25年5月20日～平成25年5月31日

●発送数 84 件

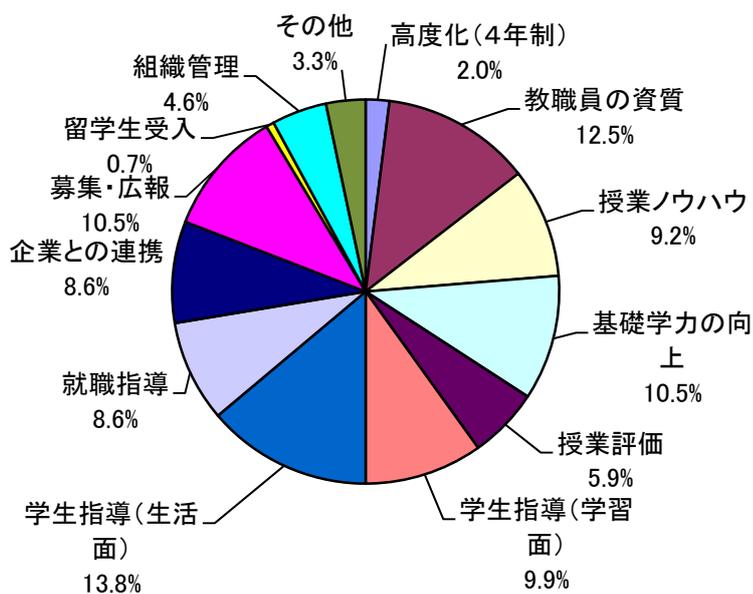
●回答数 45 件

●回答率 53.6 %

●協力校数 24 校

問2 担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているもの。

S.No	項目	回答	%
1	高度化(4年制)	3	2.0%
2	教職員の資質	19	12.5%
3	授業ノウハウ	14	9.2%
4	基礎学力の向上	16	10.5%
5	授業評価	9	5.9%
6	学生指導(学習面)	15	9.9%
7	学生指導(生活面)	21	13.8%
8	就職指導	13	8.6%
9	企業との連携	13	8.6%
10	募集・広報	16	10.5%
11	留学生受入	1	0.7%
12	組織管理	7	4.6%
13	その他	5	3.3%
	合計	152	100.0%



問2-13 その他

S.No	項目
1	コンテンツ制、自己点検、ISO299990。
2	社会人コースの運営方法ノウハウ。
3	専修学校卒者の社会的地位向上策、四年制大学への進学偏重から専門学校に目を向けさせるには？
4	退学の防止。
5	通信制・単位制コースの具体的な運営。

問3 問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
1	カウンセリング	カウンセリング・コーチングの実技指導			2日程度	
2	キャリアガイダンス	職業意識を持たせ、就職活動に繋がる内容		教員	1～2日程度	夏期
3	授業ノウハウ	上手な授業を行う講師の授業を見ることで、授業力アップのきっかけとする		教員	半日	
4	“営業マン”とはこうあるべき	教員はある意味“サービス業”である。そのため、営業マンとしてのノウハウを持っていることにより、学生指導、授業内指導、保護者対応といった様々なシーンでの対応力がより有効となる。講師には、現場で活躍する営業マンを招き、クライアントに対するアクション例、成功例、失敗例など経験話を講話いただきたい。	接客マナーからはじめ、いろいろなタイプ別の接客の仕方などを学び、現場教員の学生・保護者への対応の仕方の参考にする	現場教員	1日	問わない
5	ソフトウェア開発企業からのニーズの高い技術について	集合形式 例題を使用した技術の理解	授業ができること	IT系教員	5日	春
6	ビッグデータ解析のための人材育成	・データサイエンティストと言われるビッグデータ解析の専門人材が備えるべきスキルについて	カリキュラムに反映できること	教職員	1日	10～12月頃
7	多様な資質を持つ学生への指導方法、クラス運営	基礎力の低学生と大学卒業生が同じクラスに在籍することがあり、先進校での効果的授業方法などの事例等を聞かせていただきたい	事例紹介	教務管理者	1日	7月 8月 3月
8	大卒でなく専修学校卒者が求められる業界・技術分野とそのスキルレベル	講演形式。 提言の裏付けデータによる説明	聴講者の70%以上の人に参考になったと言ってもらえる根拠ある提言	管理者	1日	土曜日
9	ITツール活用調査	シラバス・指導方法の提案	導入できるように		2日	8月
10	わかりやすい授業法のノウハウ	講義形式資料付				
11	3Dプリンタと3Dスキャナによるものづくりセミナー	・3Dプリンタ概説と事例 ・3Dスキャナ概説と事例 ・3Dスキャナでスキャンした3Dデータを3Dプリンタで造形 ・3Dソフトで作成したオリジナルの3Dデータを3Dプリンタで造形。	・3Dプリンタと3Dスキャナの理解 ・スキャンしてものを作れる ・設定してものを作れる。			
12	教職員の資質向上	教育をとりよ環境の変化とそれへの対応(教職員として知っておくべき最低限の知識と考え方)	参加型になる演習	教職員、管理職	1～2日	夏休み
13	教育の電子化	専門学校の通信制課程設置に伴う電子教材と教育体系作りについて	文部科学省が挙げている通信生課程に対応できるレベル	教員	1～2日	8月
14	専門学校の今後について	社会情勢の変化をふまえた専門学校をとりまく状況のパースペクティブ		管理職	1日	夏
15	人間力アップ	同席学生・保護者・高等学校教師・就職企業様々な方々から評価が得られるようにするためには、自分自身を知りいかに潜在能力を生かしよるのか講義でもグループワークでも可	参加した受講者に新しい自分の魅力を発見できれば良いのではなか	全教職員		新年度
16	やる気を継続されるための方法	ケーススタディ ケースワーク	指導方法の理解	教員	1	2月～3月 8月～9月

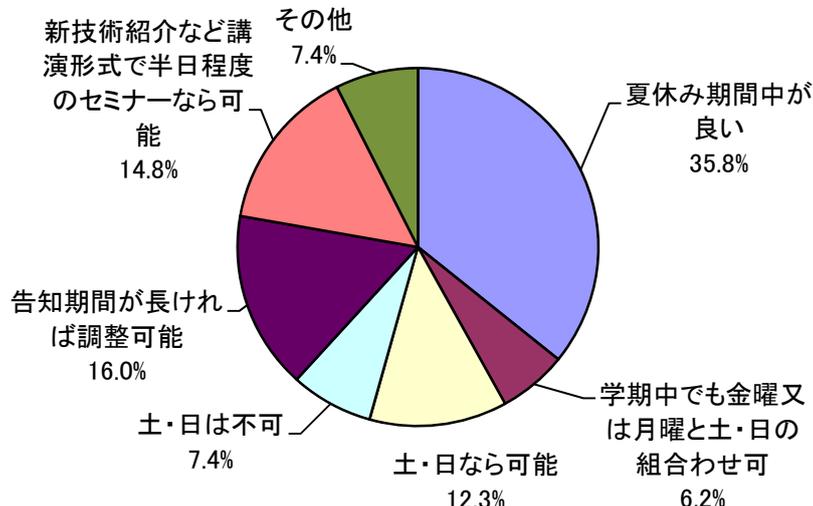
S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
17	学生指導上のメンタルヘルスに関する知識習得	専門家による指導方法・学生指導上の注意などについて事例を交え学ぶ(対発達障害者等)	学生・保護者とスムーズな対応	教員 生活指導職員	1日	希望なし
18	発達障害を持っている学生への対応	講義形式と事例紹介		教員	1日	8月上旬
19	学習障害学生対応方法研修	学習障害学生対応の症例を交えた具体的な対応策		教員	2日	夏
20	グループワークの指導方法について	グループワーク仕切り方				
21	企業が求めている教育ニーズ	講義形式	中級	中堅教員	1	8月
22	学習習慣をみにつけさせるには	講義とグループディスカッション他校の事例発表		教員	1日	2月
23	指導案の考え方	講義と実践	指導案の完成	新人	2日	
24	学校法人会計実務	学校法人会計は特殊で基本的な仕組みや考え方から基本全組入れなど実務などをきちんと学びたいです				
25	担当関連であれば国際アニメーションフェア	現在あるもの(スタジオ、プロダクションガイダンス)作家、アニメーター、映画監督	業界で活躍クリエイターの登録門	学生興味がある人	2~3日	毎年3月
26	学生募集研修	業種・職種別などの特性を活かした募集活動の事例やグループディスカッション。広報ツール別の効果比較やアプリ導入事例などのデジタルツールのセミナーなど	次年度導入可能なレベル。デジタルツールなどの導入検討のレベル。	広報関係者	1日程度	
27	グループワーク指導法について	各学校が取りくむグループワークの事例を具体的に挙げ、進行していくよでも出てくる問題や得られる成果と報告し合う	コミュニケーション能力やチーム力、社会的スキルについての問題の本質に触れることを目標にする	教員初心者教員	3日程度	夏期休暇
28	コーチングスキル	教職員の資質向上	情報処理問題解決情報共有(発信)	教員	2日	
29	発達障害に関して	発達障害の学生に対する就学、生活面のサポートに関する講演もしくは計論会など	発達障害に対する理解の向上			
30	教職員の連系	問題を解決するためにはどのようなミーティングが有効か?	グループワークが円満にできるようになる	新人 中堅教員	2~3日	7~8月
31	教員各管理	教員各の分類法とソフトの使用法など	基礎的なこと		1日	半日
32	ゆとり教育の学生の就職について	ゆとり世代の学生と企業の求める人材のギャップをどのように詰めたらいいか			1日	夏期
33	組織管理運営	・システムの作り方 ・マニュアルの作り方	一つの課題に対してどういったシステムにする手法			
34	情報交換を目的としたディスカッション形式のセミナー	発達障害のある学生への対応	・できればマニュアル化 ・担任(の仕事)とは	・担任 ・カウンセラー ・サポーター		
35	教材収集課題設定(グループワーク)	1回の授業で完了する課題がむずかしく、複数回分の日程が必要になっている。その分学生のモチベーションの維持がむずかしい。解決するノウハウや事例が知りたい		教員	1日	
36	募集ノウハウ	学生数を劇的に増加した成功事例を聞きグループディスカッション。	内容をまとめ各チームで発表する	職員	1日	8月

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
37	構成的グループエンカウンターの導入事例	・構成的グループエンカウンターを向 教育機関で導入して・・・事例 ・教職員参加者がやってみる	参加者全員がエンカウンターの知識が高まりさらに経験できる	教員	2～3日	夏～冬休み
38	初年度教育指導法	入学生の基礎学力低下に対応した効果的な導入教育、初年度教育の構築と指導法 セミナー形式	教務担当者、教務責任者	教員、教務責任者	半日、1日	秋～冬
39	企業連携の取り組み事例	環境、農業、IT、デザイン等の企業連携の実施状況と成果及びノウハウ	大学+専門学校+産業界の連携した取り組み実施レベルの情報共有	教務責任者・学科長	1.5日	8月 2月
40	他校の広報戦略	・広報戦略 ・カリキュラム自体の議論	各校で実践できる	会員校	1～3日	5月～6月
41	中間管理者向けの研修	学科長・部長に対しての講義・グループワーク・自分の改善点の発見	学科や部をまとめ部下の育成ができる前向きに問題解決ができる	学科長 部長	2～3日	夏季休校中
42	学校の関係者評価 第三者評価について	具体的な事例と実施に当たり問題点・注意点など・実施している学校さんの例について紹介してほしい		校運営 責任者	1日	8～9月
43	事例発表セミナー	募集人数が増加している学校の事例、方策等の発表			2日程度	
44	海外の専門学校の現状	・海外において大学教育とどのような差別化を図っているか、例えば韓国など進んでいる国の状況や他国の事情を知りたい。	今後の学校方針に役立てる	学校長 教務部長	2時間	随時
45	教員のカウンセリングスキルの向上、個別指導を要する学生への対応策	精神的な病を抱えている学生への対処方法、または基本的なカウンセリング手法など	研修、軽度の学生への対応が可能、欠席がちな学生への対処方法の好事例紹介	クラス担任	1日または2日	7月 8月 3月
46	システム開発調査	シラバス・指導方法の提案	導入できるように		2日	8月
47	モチベーションを上げる方法	講義形式資料付				
48	進学力学生のフォローアップ法	各種状況の共有化 専門学校によるフォロー方法のケーススタディ		教員	1日	夏
49	他校の広報戦力を知る	学生が集客できるできないの差は何なのか？全て取り入れられなくてもそのきっかけをつかみたい。 講義は自らが効果的戦略と思うものを発表に意見交換する。	広報という意味を理解し全学校対応することが必要と実感してもらうこと	教師 広報担当		新年度
50	留学に対する現地採用に関する日本企業開拓	各国の日本企業の受け入れ状況と採用方法の違い求める人材などについて。また、法律も含めてノウハウ学ぶ。	留学生に対し説明ができるレベル	留学生担当 職員	1日	(可能ならば)7月
51	発達障害に関する研修	発達障害について対処方法指導方法など				
52	メンタル問題を抱える学生指導	講義		教員	2日	
53	劇団会関係	シナリオライター、脚本家、俳優、声優(芝居形求)	脚本を制作し役者として活躍、インストラクター養成。	プロフェッショナル	2～3日	6月 12月 ごろ
54	就職指導研修	就職率向上とともに、離職率に対してのセミナーやディスカッション。また、就職指導法などを身に付けれる内容	卒業生の離職者、転職者の調査報告書が作成でき、対策方針が検討できるレベル	就職担当者 担任教員	1日程度	

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
55	情報デザインについて	学校が抱える問題をフレームワーク的にとらえ組織づくりに生かしていく	専門学校が現在担う役割を把握そのために効果的な組織のあり方をさぐる。	管理職の現場教員	3日程度	夏期休暇
56	基礎学力を持たない学生・発達障害の学生への指導	就職や正論が通用しない学生・生徒への指導法	学生・生徒が自分以外の価値観もあるということに気付くようになる	現場教員	2～3日	7～8月
57	学内カウンセリングについての成功例	・学生カウンセリングの設備 ・外部のクン背リング機関との連携の仕組み ・学内教職員間の意識ノウハウ共有の仕組み ・予算について。	学生カウンセリングの成功例の共有	教職員	1～2日	夏～冬休み
58	ICT教育	ICT(情報通信技術)を利用した授業技術の紹介 セミナ形式	初心者、初任者	教員、教務	半日、1日	
59	コンテンツ作成の取り組み	具体的な作成状況と利用方法及び効果の測定	効果的なコンテンツ作成が可能となる	学科長 教科担当	1.5日	8月 2月
60	国語力強化	国語力・表現力を実際に高めさせるための方法とは何か		会員校	1～2日	9月～10月
61	新人教員研修	新人教員に対して、授業への心構え、求められる資質。学生対応方法等の講義・グループワーク。OJTでは難しい理論的な面も	自身を持って授業や学生指導に取り組める	新人教職員	2～3日	春季 夏季休校中
62	FacebookなどSNSを利用した広報戦力	スマートフォンを使った生徒個人へのアプローチ方法など	事例紹介、法的制限、効果的なアプローチ	広報担当者、広報に関わる教員	1日	7月 8月 3月
63	基礎学力指導調査	シラバス・指導方法の提案	導入できるように		2日	8月
64	高校生から見た専門学校	高校生の目線による専門学校の印象、求めているもの、選択条件などについてで統計をもとにした具体的な情報を知る	入学希望者とのマッチング	教員 広報担当教員	1日	前期
65	就職面接の指導方法について	医療分野の就職について面接の特徴指導方法など				
66	市場ニーズ研修	今の若者文化、主張性、価値観などの再理解できるセミナーと5年後、10年後の市場性が理解できる内容	5年後の市場動向が明確に理解できるレベル、10年後の各業界動向が予測できるレベル。	学科主任広報関係者、中堅教員	1日程度	
67	学生の地頭力社会的スキルを向上させるための研修	専門学校に入学するまでに学生がどのような教育を受け何を身に付けてきたか現状を知り、どのように何をへ導くかを考える	学生にスキル、現状を知る 現場がのぞむこととのズレを知る	教員	3日程度	夏期休暇
68	専門学校の可能性 多年金層に対応できる教育について	高令者や子供の教育で専門学校ができること				
69	海外連携と学生の育成方法	海外の日本へ留学状況と分野 今後の動向 国別学生受け入れの注意点と効果的育成方法		海外担当教員	1.5日	8月 2月
70	広報活動内容の体制化及び事例発表	シラバス・指導方法の提案	導入できるように		2日	8月

問4 実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等

S.No	項目	回答	%
1	夏休み期間中が良い	29	35.8%
2	学期中でも金曜又は月曜と土・日の組み合わせ可	5	6.2%
3	土・日なら可能	10	12.3%
4	土・日は不可	6	7.4%
5	告知期間が長ければ調整可能	13	16.0%
6	新技術紹介など講演形式で半日程度のセミナーなら可能	12	14.8%
7	その他	6	7.4%
合計		81	100.0%

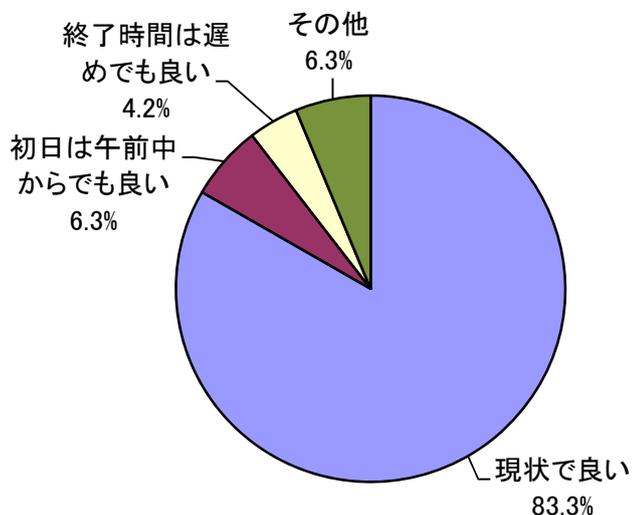


問4 その他

S.No	項目
1	冬休暇中などの長期休暇期間。
2	冬休み、春休み。
3	学校が休みの時期に開催【夏：8月下旬、冬：12月24日以降、春：3月上旬】。
4	本校に限ったことなのかもしれませんがなかなか外部の研修へ出ることが難しくなっております。(教員数に余裕が少ないため)そのため可能な限り日数を短期にさせていただけるとありがたいです。
5	春期休業期間 2月など。
6	8月～11月

日程について

S.No	項目	回答	%
1	現状で良い	40	83.3%
2	初日は午前中からでも良い	3	6.3%
3	終了時間は遅めでも良い	2	4.2%
4	その他	3	6.3%
合計		48	100.0%



その他

S.No	項目
1	遠方から参加されることが見込まれるのであれば現在のままでよろしいかと思いますが近郊の学校が主体であれば午前10時ぐらいのスタートがよろしいかと考えます。
2	専門学校でも可能なら遠方でもOK。
3	月曜日の9:30～火曜日15:00ぐらい。

問5 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1	兵庫県にある神戸電子専門学校を見学	(OC参加)し、学生募集に関する情報収集と意見交換。	8月	1日
2	アジア諸国(韓国等)や欧米諸国	先進的な取組みを行なっているIT系専門学校の見学会。	8月	5日
3	大学	大学も人気がある学校とそうじゃない学校に分かれています。人気を上げる保つ工夫を実感したいと思います。	大学様の都合	1日
4	東京アニメフェア	業界と連携したイベントによりスタジオ、プロダクション、学校等のつながり。学生への情報指導就職活動に移行するもの。	3月	
5	京阪神地区	学生募集や広域募集活動に関する情報を聞いてみたい。	8月	1日
6	デンマーク			7日
7	秋田市国際教養入学			
8	新潟県の新潟農業・バイオ専門学校	農業・バイオ専門学校の見学し運営方法や今後の方向性を意見交換したい。 環境に関する分野も希望する。	10月	1日

問6 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

S.No	問題・課題等
1	<p>SNSの活用 学生ツイッターやLINEなどのSNSを多用しており、学生と教員との活用方法がないか？ また論理的に注意が必要なことは何か・・・</p>
2	<p>オープンキャンパスなどの参加者満足向上や、他校との比較検討時の強みのポイントの明確化と、進学推薦(保護者など)の業界理解向上。</p>
3	<p>学校で求められる業務内容が多様化し1つの項目を十分に掘り下げコミュニケーションと取り、対応する時間が取りづらいため、問題の本質に触れたり、解決をするための時間が不足している。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境の問題。 ・人とのかかわり方。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力がない生徒は新しいことを学ぶ意識がないという現状をどうにかしたい。 ・組織内をスムーズに動かすためのノウハウを知りたい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力に欠ける学生に対する補導のあり方。 ・授業展開のレベル設定と現状の落差の対応。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間の心の負担の軽減教員向けカウンセリング ・あまり時間をかけずに学校設備をかつこよく見せられないか？ ・高等課程を持っている学校の生徒指導のやり方 <p>専門課程へ編入する際についてこれより生徒へのケアや対応保護者との連携の仕組み 外部機関での協力。</p>
8	<p>心の問題を抱えた学生に対し、日常、教職員が心をかけるべき具体的な事項。</p>
9	<p>心の問題を抱えた学生について保護者に理解がない場合の対処方法。</p>
10	<p>心の問題を抱えている学生への対応について。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ作成状況と実施校の設備・運営方法 ・国際化に向けた取り組み。 ・学生相談室(カウンセラー)との情報共有と効果的な取り組み。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノウハウや教材などの知識蓄積が継承されていない。個人完結になっている。 ・授業の準備が必要な時期の人事異動のため、自次年度の目標が定まらない。

S.No	問題・課題等
13	授業の質の向上とはかるため、より社会に近い状況での課題設定をしたいのですがハードルが高くなったり高度なコミュニケーションスキルが必要になると学生のスキルに幅がある場合、全体で進行していくことが困難になります。スキルだけでなく、学生自身の考える力や働く力と引き出すことが課題だと思います。
14	精神症患者発達障害のある学生の対応。
15	同種の大学に専門学校が勝つ為には・・
16	毎年入学している生徒の学力・生活態度などに大きな差があるように感じています。1つのクラス運営でその差がある生徒の指導をいかに円満に進めるのか？そしてその生徒の保護者対応も含めて他校様がどのように指導し退学率の軽減につとめられているのかを知りたいです。
17	留学生の進路・就職先について更に充実させて愛と考えている。個々に希望もまちまちであり、多岐にわたった進路指導が要求されている。今後更に国際化の時代を迎えるに当たり業界、業種、職種、そして法律などについても多くの情報を必要としている。
18	自閉症 に関すること。(対応、心のケア、保護者対応など)。
19	心の病の学生に対する、ガイダンス技法やアドバイス方法。
20	旅費も含めた経費全体の節減を勧めているため、遠隔地への出張を控えています。地方での講演・セミナー開催を望みます。